

夏休み、こどもの居場所を応援しよう！

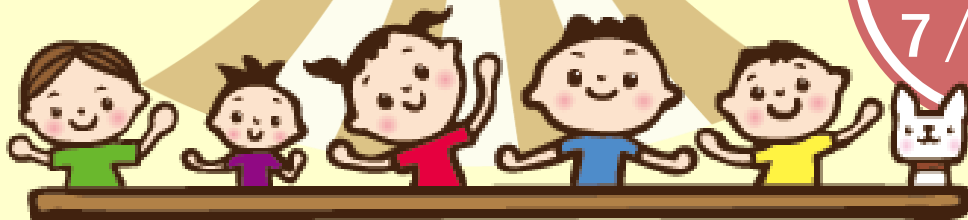
こども食堂支援

フードドライブプロジェクト

7/18(金)

～

7/31(木)



三越伊勢丹グループ労働組合では、SDGsアクションにおける「誰一人取り残さない」社会の実現や食品ロスの削減を目指し、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめて地域のこども食堂や支援団体へ寄付をする取り組み“こども食堂支援フードドライブプロジェクト”をはじめました。

特に、学校も給食もない夏休み期間中は、こども達の居場所として「こども食堂」の活動が全国的に活発化するため、多くの食材が必要となります。皆様のご協力をお待ちしています！

回収日：2025年7月18日(金) 15:30～7月31日(木)

回収場所：本社 8階に回収ボックスを設置します

詳しくは、労働組合 鶴見までご連絡ください



フードドライブプロジェクトの流れ

ご家庭

家庭で
余っている
食材を寄付

労働組合

各支部で
寄付食材を
回収・保管

労働組合

各支部毎に
支援をおこなう
寄付先を決定

子ども食堂

食堂で活用、
必要とする方へ
提供



あつめる食品の条件

1. 包装や外装が破損していないもの
2. 賞味期限が明記されており、「**2025年9月以降**」のもの
3. 未開封のもの
4. 生鮮食品でないもの
5. 冷凍や冷蔵保管が必要ないもの

こんな食材が喜ばれます！

1. お米(白米)、パスタ
2. 食用油・醤油・味噌・砂糖などの調味料
3. インスタント・レトルト食品・缶詰など長期保存が可能なもの
4. コーヒーやお茶などの嗜好品



受け付けできない食品

1. アルコール飲料 (料理酒は除く)
2. サプリメント(栄養補助食品、健康補助食品、栄養調整食品)
3. 保険機能食品(特定保険用食品、栄養機能食品、機能性表示食品)
4. 医薬品・医薬部外品・医療用医薬品

「こども食堂」ってどんなところ？



こども食堂とは、**地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格帯で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場**を指しています。また、単に「子どもたちの食事提供の場」としてだけではなく、帰りが遅い会社員、家事をする時間のない家族などが集まって食事をとることも可能です。

このように、「**人が多く集まる場所**」ができたことで、**地域住民のコミュニケーションの場**としても機能しているのです。



お近くのこども食堂を調べてみる



いただいた食材は、**地域のこども食堂や支援団体へ寄付させていただきます。**



こども食堂支援フードドライブプロジェクト

前回のフードドライブの報告

IMPD支部では、2024年12月4日～12月13日の期間、こども食堂支援としてフードドライブプロジェクトをおこないました。

これらの食材は新宿区にあります、新宿ニコニコ子ども食堂さんへ寄付をさせていただきました。多くの食料品のご提供ありがとうございました!!

皆さんからご寄付いただいた食材（一例）



この他にもたくさんの食材を寄付いただきましたうさ~



<2024年・冬のフードドライブ支援実績>

支部名	フードドライブ支援団体
三越伊勢丹支部	新宿区ニコニコ子ども食堂
三越伊勢丹システム・ソリューションズ支部	
三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部	
北海道統括支部	NPO法人 ねっこぼっこのいえ
仙台三越支部	仙台市社会福祉協議会
新潟三越伊勢丹支部	新潟市社会福祉協議会
広島三越支部	NPO法人広島こども食堂支援センター
高松三越支部	たかまつこども食堂ネットワーク



※フードドライブプロジェクト期間外で、寄付をご希望の場合は各支部までお問合せください。